

2026年第1回全国てんかん対策連絡協議会
2026年7月12日

KU:P



てんかん地域診療連携体制整備事業 京都府における取り組み

京都大学大学院医学研究科 てんかん・運動異常生理学講座
京都大学医学部附属病院 てんかん診療支援センター副センター長

よしだ たけし
吉田 健司

京都府の人口（2024年10月時点）

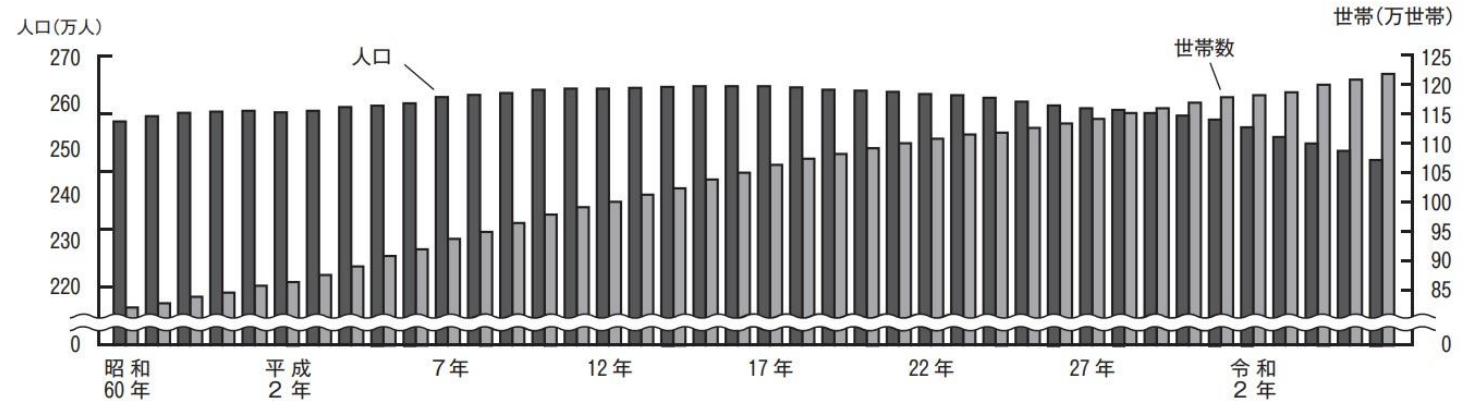
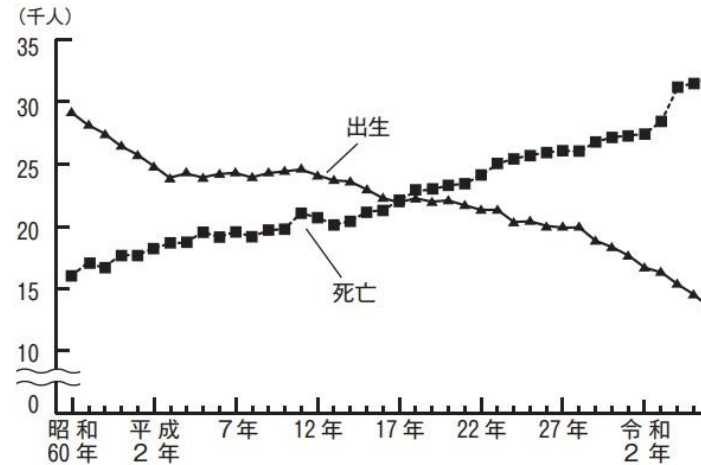


図2 自然動態（出生数・死亡数）の推移

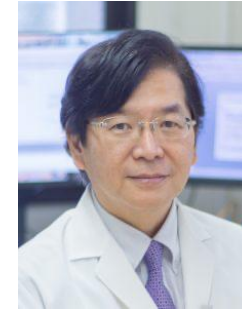


- 人口：
約250万人
- 年間出生：
約1.3万人
- てんかん専門医：
51人

京都府におけるてんかん地域診療連携体制整備事業の歩み

2018年6月より
京都府・てんかん協会京都府
支部・京都大学・京都府立医
科大学・京都府警察本部と連
携して、**てんかん地域医療連
携協議会設置準備会議**を発足
しました

2022年12月
京都大学医学部
附属病院が
**京都府てんかん
支援拠点病院**
に選定されました



センター長
池田昭夫先生



センター長
松本理器先生

2015

てんかん
地域診療
連携体制
整備事業
モデル事業

2018

厚労省
補助金事業
として
本整備事業
スタート

2018年11月に
京都大学医学附属病院
てんかん診療支援センター
が設立されました

2022

京都府てんかん
地域医療連携協議会
年2回開催

2026

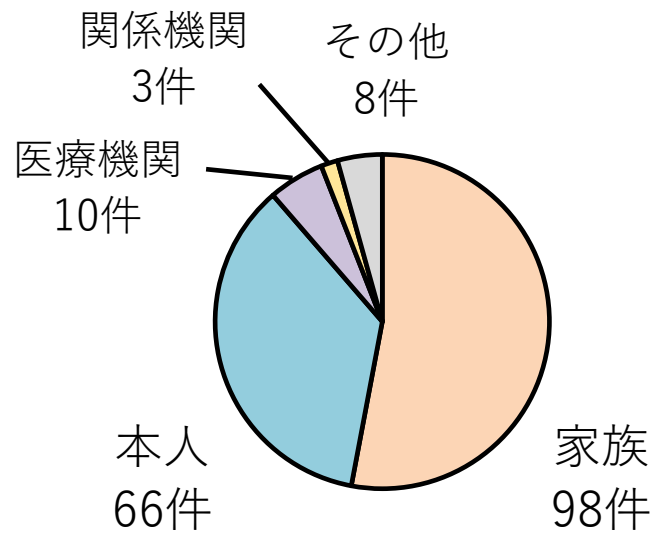


てんかん支援コーディネーターの活動

- 脳神経内科医師2名が週2日ずつ担当。対面または電話。1件30分。2023年1月から累積185件。
- 2026年4月からオンラインで申し込み、後日コーディネーターから電話するシステムに変更。

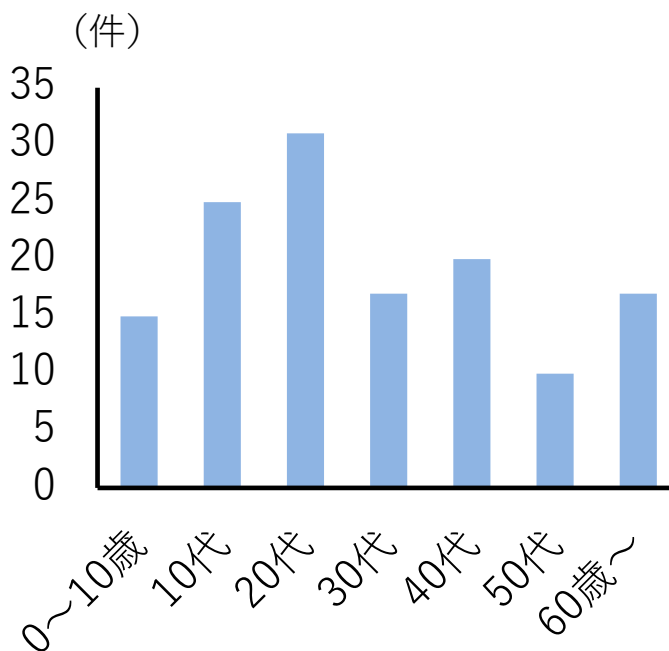
相談者属性

対面28件 + 電話157件



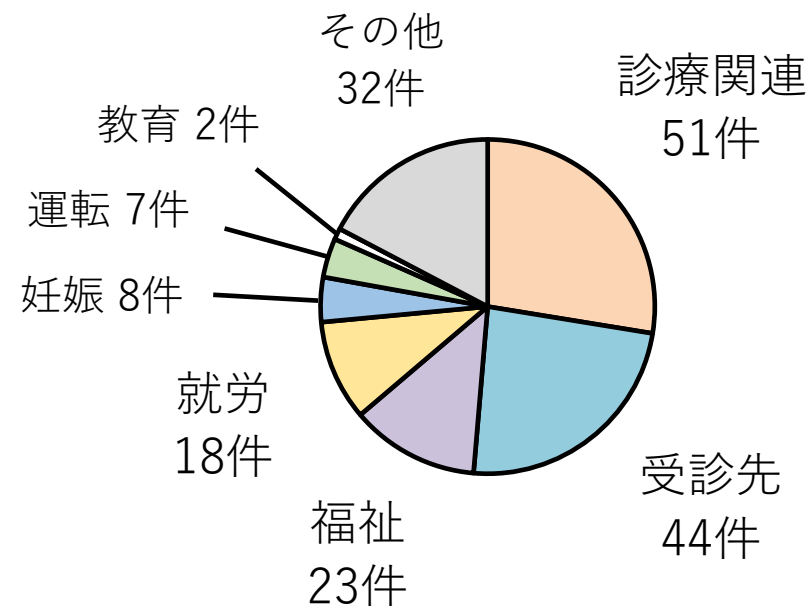
患者年齢

計185件



主な相談内容

主なものを1つ選択・計185件



医療関係者を対象とする講演会（2025年）

第4 回てんかん診療講演会

『てんかんの急性期からのシームレスな対応』

日時 **2025年2月13日(木)**
18時30分 ~ 20時30分

定員 オンライン（Zoomウェビナー）

対象 府内でてんかん診療に関わる可能性のある
全ての医療関係者・医療系学生

共催 京都府
京都府医師会
京都府立医科大学附属病院
京都大学医学部附属病院



京都府てんかん地域診療連携体制整備事業

お申込み

右のQRコードまたは下記URLよりお申込みいただけます
後日、ご参加用リンクを送付いたします
申込URL : <https://u.kyoto-u.jp/wg6b5>
直前までお申し込みが可能です



本講演会では、日本医師会生涯教育講座の単位が付与されます

第1部: けいれん発作 1.0単位
第2部: けいれん発作 0.5単位

第4 回 てんかん診療講演会 「てんかんの急性期からのシームレスな対応」

開催日時: 2025年2月13日(木) 18:30~20:30
開催形式: オンライン (Zoom ウェビナー)

開会の辞 (5分)

京都大学医学部附属病院 てんかん運動異常生理学講座 教授 池田 昭夫先生
京都府健康福祉部 部長 井原 正裕先生

第1部: 講演 てんかん発作の急性期対応 (80分)

(けいれん発作 1単位)

座長・司会

京都府立医科大学附属病院 救急医学教室 助教 武部 弘太郎先生
京都医療センター 脳神経外科 医長 山尾 幸広先生

1) 小児救急で遭遇するてんかんのTIPS

京都第一赤十字病院 小児科 副部長 短田 浩一先生

2) 北部地域におけるてんかん診療の現状

京都府立医科大学附属北部医療センター 救急科 助教 大江 照先生

3) 当院救急におけるてんかん診療の現状と課題～てんかん専門医のいない救命救急センター～

宇治徳洲会病院 救急総合診療科 部長 三木 健児先生

4) 画像検査が有用であったてんかんと鑑別すべき疾患

京都府立医科大学付属病院 小児科 学内講師 戸澤 雄紀先生

5) 救急診療における脳波検査の役割

京都大学医学部附属病院 検査部 病院講師 宇佐美 清英先生

第2部: パネルディスカッション てんかん発作の急性期医療 (30分)

(けいれん発作 0.5単位)

座長・司会

京都第二赤十字病院 救急集中治療科 部長/京都府医師会 理事 成宮 博理先生
京都大学医学部附属病院 てんかん運動異常生理学講座 教授 池田 昭夫先生

パネリスト 第一部の演者

閉会の辞 (5分)

京都府立医科大学 医学部 看護学科医学講座小児科学 教授 森本 昌史先生

お問い合わせ: 京都大学医学部付属病院医務課診療支援掛

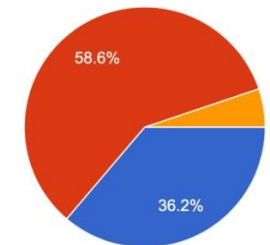
電話: 075-751-4681 メールアドレス: 070.shinryousien@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
住所: 〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町54

共催: 京都府、京都府医師会、京都府立医科大学附属病院、京都大学医学部附属病院

- 参加者: 178人
- 事後アンケートでは『参加してよかった』と回答した方が約97%と好評

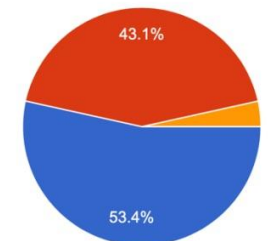
Q.2 分かりやすかったですか？

58 件の回答



Q.3 参加してよかったですか？

58 件の回答



医療関係者を対象とする講演会（2026年）

京都府てんかん地域診療連携体制整備事業

第5回京都てんかん診療講演会

『身近な疾患として、てんかん診療とケアを考える』

日時 2026年2月5日(木) 18:30～20:30

開催形式 WEB配信

対象 府内でてんかん診療に関わる可能性のある
全ての医療関係者・医療系学生

共催 京都府
京都府医師会
京都府立医科大学附属病院
京都大学医学部附属病院



お申込み

右のQRコードまたは下記URLよりお申込み
いただけます

後日、ご参加用リンクを送付いたします

申込URL: <https://u.kyoto-u.jp/4jl9b>

直前までお申し込みが可能です



本講演会では、日本医師会生涯教育講座の単位が付与されます

第1部：13医療と介護および福祉の連携 1単位

第2部：13医療と介護および福祉の連携 0.5単位

第5回 京都てんかん診療講演会

「身近な疾患として、てんかん診療とケアを考える」

講演会プログラム

開催日時：2026年2月5日(木) 18:30～20:30

開催形式：web配信

開会の辞（5分）

京都大学医学部附属病院 てんかん・運動異常生理学講座 池田 昭夫先生
京都府健康福祉部 部長 井原 正裕氏

第1部：講演 様々なてんかんの医療連携（80分）

（13医療と介護および福祉の連携 1単位）

座長

京都大学医学部附属病院 脳神経内科 教授 松本 理器先生
京都大学医学部附属病院 小児科 助教 吉田 健司先生

- 1) 京都府福知山地域でのてんかん診療の実際と課題
市立福知山市民病院 脳神経内科 渡邊 明子先生
- 2) 地域小児救急におけるてんかん診療 - この1年の症例からみた初期対応と治療（熱性けいれんを含む） -
京都田辺中央病院 小児科 山下 哲史先生
- 3) てんかん患者さまが安心して暮らすための訪問看護の役割
洛和会訪問看護ステーション下鴨 白井 瑞穂氏
- 4) 保険薬局における抗てんかん薬の調剤と課題
ダイガク薬局 四条 鍵村 和伸先生
- 5) 介護医療院における高齢者てんかんの実情
新生十全会なごみの里病院 院長 田中 静吾先生

第2部：パネルディスカッション てんかんの医療連携（30分）

（13医療と介護および福祉の連携 0.5単位）

座長

医仁会 辰巳診療所 所長 神田 益太郎先生
京都大学医学部附属病院 てんかん・運動異常生理学講座 池田 昭夫先生

パネリスト 第1部の演者・神田 益太郎先生・池田 昭夫先生

閉会の辞（5分）

京都府立医科大学 医学部 看護学科医学講座小児科学 教授 森本 昌史先生

お問い合わせ：京都大学医学部附属病院医務課診療支援掛

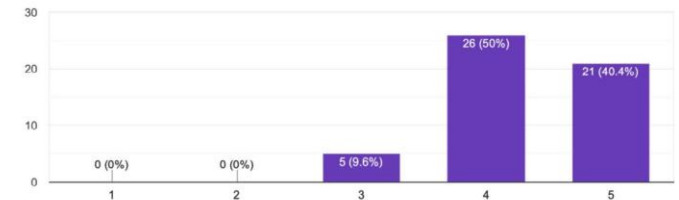
電話：075-751-4681 メールアドレス：070shinryousien@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

住所：〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町54

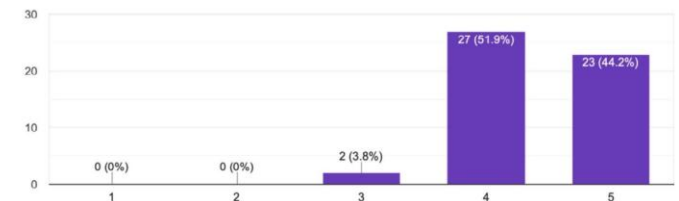
共催：京都府、京都府医師会、京都府立医科大学附属病院、京都大学医学部附属病院

- 参加者：98人
- 事後アンケートでは『参加してよかった』と回答した方が約96%と好評

Q2 分かりやすかったですか？
52件の回答



Q3 参加してよかったですか？
52件の回答



府民公開講座（2025年）

第3回

京都府てんかん地域診療連携体制整備事業

府民公開講座

～てんかんを正しく知ろう～

小児
てんかん
って何？

てんかん
ってどんな
病気？

てんかん
のお薬って
？

日時

2025年
10月19日 日 13:00-14:30

開催形式：オンライン（zoomウェビナー）

てんかんは赤ちゃんから高齢者まで誰でも罹患する可能性があり、その頻度はおよそ100人に1人ともいわれています。
一般の方にてんかんを正しく理解できるよう、専門の医師が解説します。



左記のQRコードまたは以下のHP内登録URLよりお申込みいただけます。
後日、ご参加用リンクを送付いたします。
事前登録：<https://u.kyoto-u.jp/epi3>



共催：京都府、京都府立医科大学附属病院、京都大学医学部附属病院
後催：日本てんかん協会京都府支部、京都府医師会

プログラム・詳細は裏面をご覧ください

プログラム・詳細

日時：2025年10月19日(日) 13:00～14:30

開催形式：オンライン(zoomウェビナー)

開会挨拶：

京都大学医学部附属病院てんかん診療支援センター/てんかん・運動異常生理学講座
特定教授 池田 昭夫 先生

前半：てんかんを広く正しく知ろう

司会： 南京都病院 脳神経内科 医師 細川 恭子 先生
京都大学医学部附属病院 脳神経内科 特定助教 武山 博文 先生

講演1 小児てんかんの診断

京都府立医科大学附属病院小児科 病院准教授 千代延 友裕 先生

講演2 てんかんの治療～知っておきたい基本から新薬まで～

京都大学医学部附属病院 脳神経内科 助教 小林 勝哉 先生

後半：てんかんをより細かく知ろう

司会： 川崎医院 院長 川崎 淳 先生
京都第一赤十字 小児科・新生児科 部長 西村 陽 先生

講演1 日常生活の注意点

宇多野病院 脳神経内科 臨床研究部長 下竹 昭寛 先生

講演2 負担の少ない新しいてんかんの外科治療

京都大学医学部附属病院 脳神経外科 准教授 菊池 隆幸 先生

閉会挨拶：

京都府立医科大学 医学部 看護学科医学講座 小児科学
教授 森本 昌史 先生

事前登録：必要（ウェビナー）

お問い合わせ：

京都大学医学部附属病院医務課診療支援室

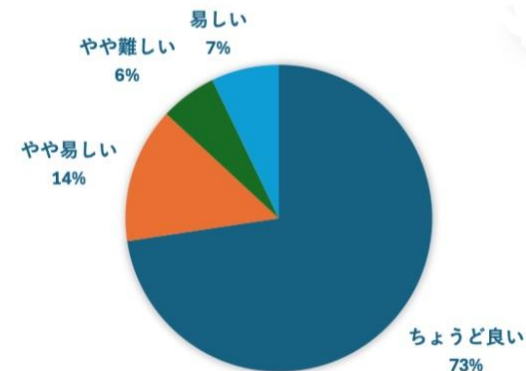
電話：075-751-4682

メールアドレス：070shinryousien@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

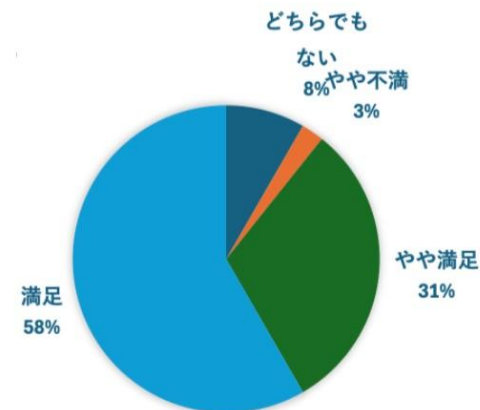
住所：〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町54



わかりやすさ



満足度



2026年3月26日パープルデーイベント



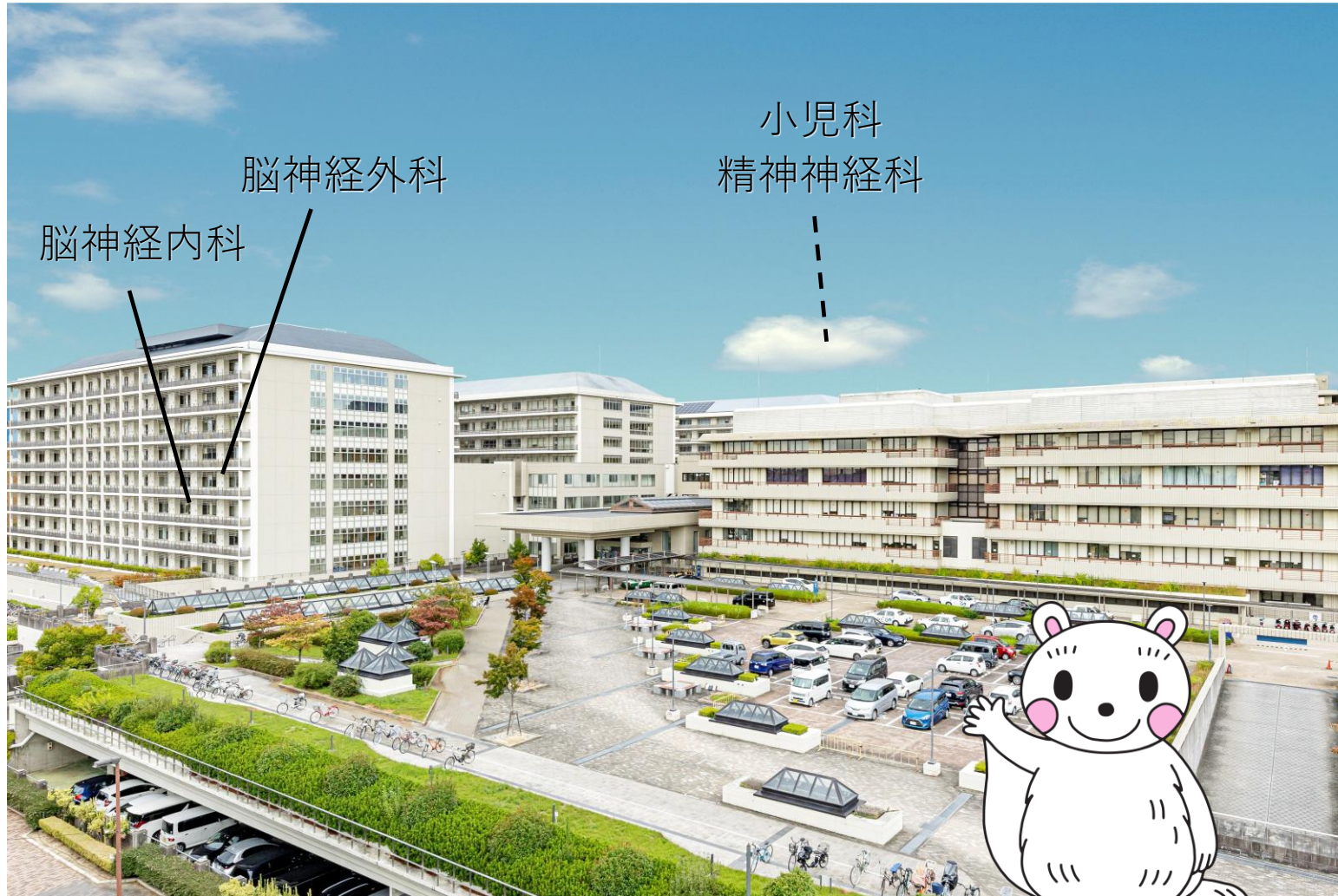
京都タワー



京都府庁旧本館

京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座ホームページより（2026年7月アクセス）

拠点病院（京都大学医学部附属病院）の紹介



くーぷう



設立 126年の歴史
1899 2025
1899年12月

24
標榜診療科数


▶ P.59

3,873人
教職員数
(2025年4月現在)

医師 ^(※)	1,190人
歯科医師 ^(※)	22人
看護要員	1,465人
薬剤師	116人
その他	1,080人

(※) 医員含む

1,131床
病床数 (2025年4月現在)


▶ P.59

【診療の数字】

2025年度実績

2,561人
1日平均外来患者数

23,423人 **11.1日**
年間新入院患者数 平均在院日数

▶ P.60

▶ P.60

97.12%
患者紹介率
125.96%
逆紹介率

▶ P.60

11,489件
年間手術件数
5,647件
うち日帰り手術件数

▶ P.61

てんかん診療支援センター

てんかん外来	月	火	水	木	金
小児科	吉田・横山			吉田・横山	吉田
脳神経内科	松本・小林・梶川	宇佐美	小林	武山・戸島	林・河村
脳神経外科	菊池			澤田	
精神科神経科				植野	

※2026年4月現在

- **スタッフ**：常勤てんかん専門医11人（2026年4月）
- **設備**：脳波モニタリングユニット5室、ポータブル脳波計、MRI、PET-MRI、脳磁図
- **2025年度診療実績**：てんかん患者2,819人、てんかん外科手術23件、入院ビデオ脳波成人42件・小児76件、頭蓋内電極留置成人5件・小児2件
- **合同カンファレンス**：月1回web開催。多科・多職種30～40人が参加し、侵襲的検査やてんかん外科手術の適応について、薬剤抵抗性てんかん患者1～5人について検討する。
- **2026年度運営委員会**：年6回ハイブリッド開催。脳神経内科・脳神経外科・小児科・精神科神経科・放射線科・看護部・薬剤部・精神保健福祉士・事務
- **脳波判読所見会**：脳神経内科週1回現地開催、小児科週1回現地開催

京都大学医学部附属病院・脳磁図



てんかん診療を前へ進めるMEG検査の魅力

安全で正確にてんかんの検査ができることで次世代脳波とも呼ばれるMEG(脳磁図)検査。

検査室が中央診療棟に移り、利便性が向上したことで多くの患者さんにご利用いただいています。

小児から高齢の方まで広くご利用いただけるMEG検査の魅力と可能性をご紹介します。



- 利用実績：
臨床記録129件
(2025年7月～2026年6月)

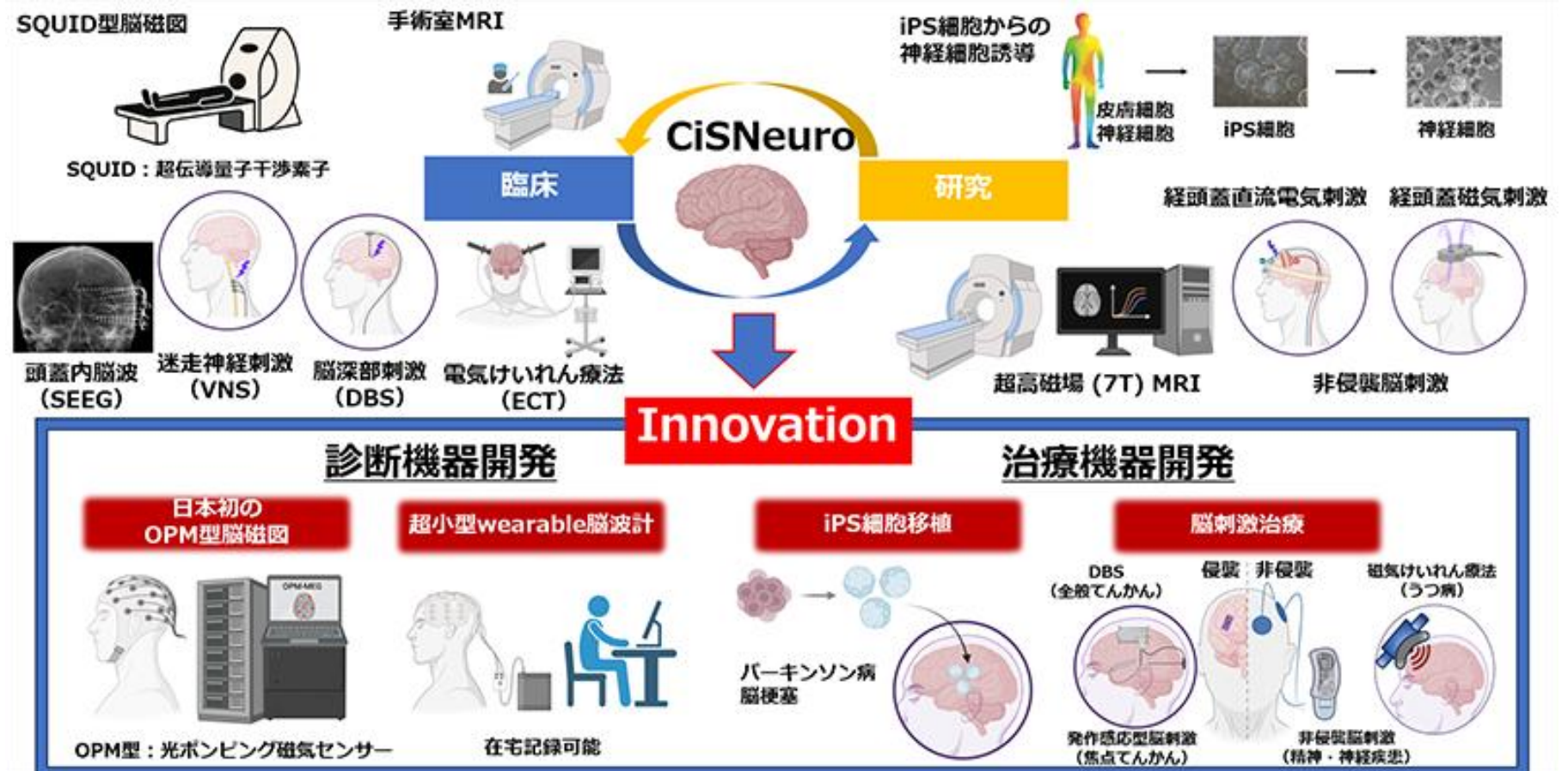
京大病院広報第128号
(2022年12月発行) より

研究との連携

- Wide-band EEGやCCEP（脳神経内科）やゲノム解析（小児科）等の臨床と研究の融合
- 脳神経治療創発センター（Center for Innovative Systems Neurotherapeutics、CiSNeuro）が2025年10月に設置。各診療科と脳機能総合研究センター・京都大学iPS細胞研究所が連携。

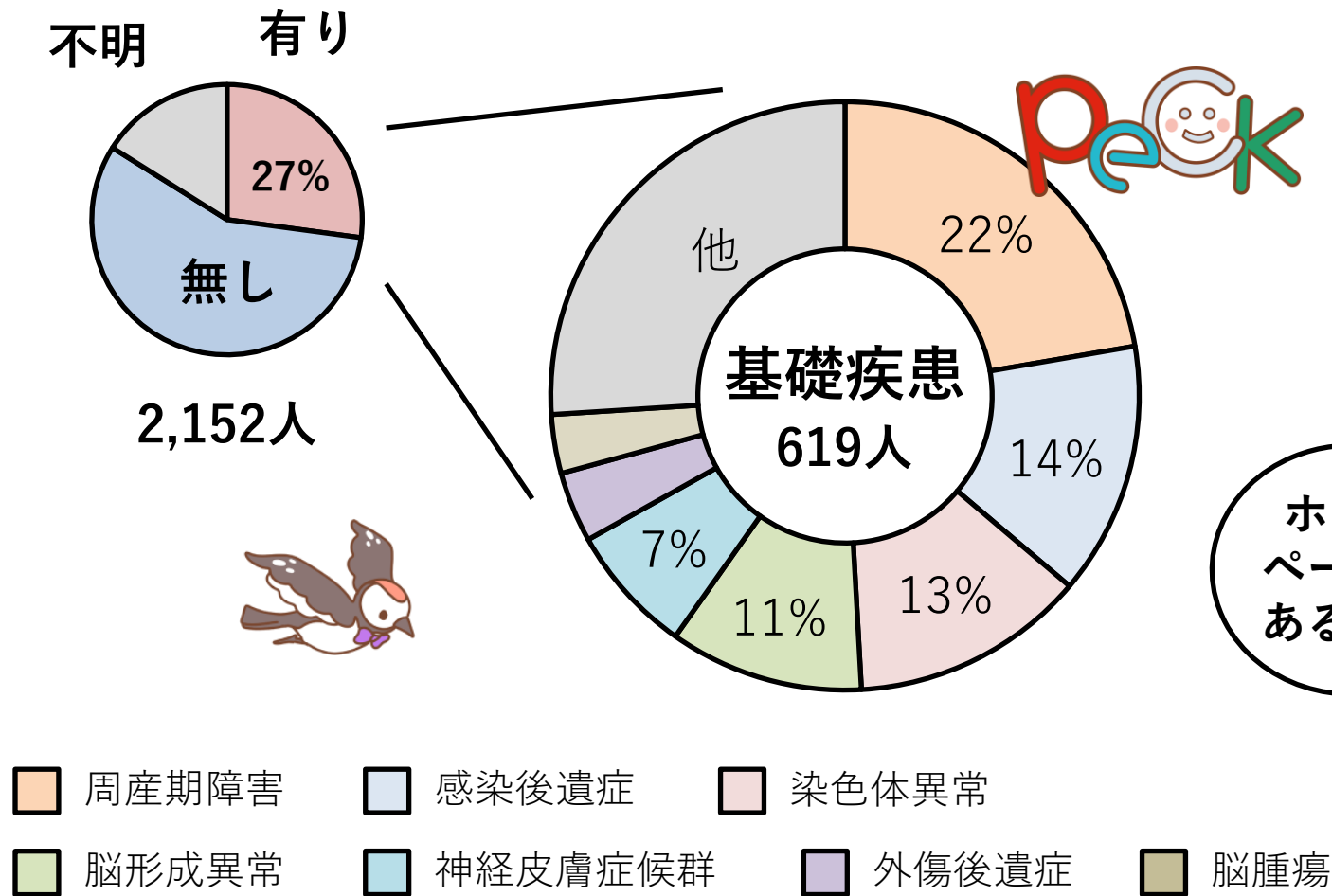


ポリメイトGo
が保険収載



小児てんかんの基礎疾患 ～京都コホート研究より～

- 京都府立医科大学（森本昌史先生）と京都大学（吉田健司・横山淳史）が連携し、京都府小児てんかんコホート研究（PECK）を行っております。



Peck

どんな研究をしているの? どんなことがわかっていくの? どんな人たちが研究しているの? ウェアラブル心電図解析

情報が集まることで
みえてくる
答えがある

京都
小児てんかんコホート研究
PECK

ホーム
ページも
あるよ!

てんかんをもつみなさんへ

てんかんは決してまれな病気ではないけれど、よりよい治療を見つけるためには、出来るだけたくさんの情報を集めることが大切なんだ。

僕たち「PECK」は、てんかんをもつこどもたちが安心して暮らせる未来を作るために、小児てんかんの研究に取り組んでいるよ。

<https://peck.med.kyoto-u.ac.jp/>

おわりに

- 京都府は人口当たりのてんかん専門医数が全国でも多い一方、専門医は京都市およびその近郊に偏在しています。
- 今後は、人口減少が進む地域において質の高いてんかん診療をいかに支援していくか、また、持続可能なてんかん相談支援体制をどのように構築するかが重要な課題と考えています。
- 地域に根ざした診療と世界水準の研究を両輪として、京都から世界へ貢献するてんかんセンターを目指してまいります。



謝 辞

- 患者様をご紹介いただきました地域の医療機関の先生方
- 京都府のてんかん地域診療連携体制整備事業にご尽力いただいているすべての皆様
- 京都大学医学部附属病院てんかん診療支援センターの活動を支えていただいているすべての皆様
- 研究活動と並行して日々の診療を支えてくださっている各診療科の大学院生の皆様
- 京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座は、住友ファーマ株式会社および日本光電工業株式会社との共同研究講座です

